

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名 社会科学	学科名	公務員上級学科（国家地方上級コース）
	担当教員	吉田 友哉・井上 雄・柳谷 知宏
科目時間数： 555 時間	授業の種類： (講義) ・ (演習) ・ 実習	
必修・選択の別： (必修) ・ 選択 ・ 必修選択	開講時期： 通年	
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員試験において必要とされる社会科学について学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 憲法、民法、行政法、ミクロ経済学、マクロ経済学、政治学、行政学、社会学、経営学の各科目について、大学卒業程度国家公務員試験に必要な知識を基準としながら、理論を学び、演習によって定着を図る。</p> <p>【授業における達成課題】 大学卒業程度国家公務員試験において、その理解が答案作成という形で表すことができることを目標とする。</p>		
使用教材	出版社	
1. 憲法 2. 民法の点数が面白いほどとれる本 3. 行政法読本 4. 速習！ミクロ経済学 5. 速習！マクロ経済学 等	弘文堂 KADOKAWA 有斐閣 中央経済社 中央経済社	
<p>【使用教室】 ①. HR 2. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】 ①. 定期試験 ②. 小テスト ③. 出席率 ④. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他 ()</p>		
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>		
<p>【担当職員の実務経験】</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
社会科学		555	時間 員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	憲法	憲法と立憲主義について学ぶ。	
2	民法 民法の全体像	民法の全体像について学ぶ。	
3	ミクロ経済学 需要曲線・供給曲線	経済における需要曲線・供給曲線の形を理解できる。また需要の価格弾力性についても理解できる。	
4	憲法	憲法と立憲主義について学ぶ。	
5	民法 総則	民法の基本原則と権利の制約について学ぶ。	
6	ミクロ経済学 需要曲線・供給曲線	計算問題が解けるようになる。	
7	憲法	日本国憲法史について学ぶ。	
8	民法 総則	民法（民法の基本原則と権利の制約）について学ぶ。	
9	ミクロ経済学 生産者理論	生産者における費用構造が理解できる。また利潤最大化の条件を計算・グラフで理解できる。	
10	憲法	国民主権の原理について学ぶ。	
11	民法 総則	権利能力について学ぶ。	
12	ミクロ経済学 生産者理論	損益分岐点・操業停止点の条件、グラフ上の点がどこであるか理解できる。	
13	憲法	国民主権の原理について学ぶ。	
14	民法 総則	権利能力について学ぶ。	
15	ミクロ経済学 生産者理論 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。	
16	経営学	経営学の全体像を概観する。	
17	政治学・行政学	政治学の全体像を概観する。	
18	社会学	社会学の誕生について学ぶ。	
19	経営学	企業の特徴について学ぶ。	
20	政治学・行政学	政治学の歴史について学ぶ。	
21	社会学	社会学の成立と展開について学ぶ。	
22	憲法	平和主義の原理について学ぶ。	
23	民法 総則	意思能力について学ぶ。	
24	ミクロ経済学 市場均衡	市場均衡に至る3つの過程が理解できる。	
25	憲法	平和主義の原理について学ぶ。	
26	民法 総則	行為能力について学ぶ。	
27	ミクロ経済学 市場均衡 演習	図解問題が解けるようになる。	
28	憲法 基本的人権	基本的人権の原理について学ぶ。	
29	民法 総則	行為能力について学ぶ。	
30	ミクロ経済学 余剰分析	完全競争市場における消費者余剰・生産者余剰が理解できる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	憲法 基本的人権	基本的人権の内容について学ぶ。
32 回	民法 総則	失踪宣告について学ぶ。
33 回	ミクロ経済学 余剰分析	課税・補助金など政府の政策による余剰の変化が理解できる。
34 回	憲法 基本的人権	人権の享有主体について学ぶ。
35 回	民法 総則	意思表示の不一致について学ぶ。
36 回	ミクロ経済学 余剰分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。
37 回	経営学	企業の特徴について学ぶ。
38 回	政治学・行政学	行動論的政治学とその発展について学ぶ。
39 回	社会学	デュルケムと社会的事実について学ぶ。
40 回	経営学	企業の分類について学ぶ。
41 回	政治学・行政学	政治と権力について学ぶ。
42 回	社会学	デュルケムと社会的事実について学ぶ。
43 回	憲法 基本的人権	人権の享有主体について学ぶ。
44 回	民法 総則	心裡留保について学ぶ。
45 回	ミクロ経済学 貿易と余剰分析	貿易した際の社会的総余剰が理解できる。
46 回	憲法 基本的人権	人権と公共の福祉について学ぶ。
47 回	民法 総則	通謀虚偽表示について学ぶ。
48 回	ミクロ経済学 比較生産費説	2国間における比較生産費を比べることができる。
49 回	憲法 基本的人権	人権と公共の福祉について学ぶ。
50 回	民法 総則	錯誤について学ぶ。
51 回	ミクロ経済学 比較生産費説	生産可能性フロンティアをもとにして、2国間における貿易の条件が理解できる。
52 回	憲法 基本的人権	人権と公共の福祉について学ぶ。
53 回	民法 総則	錯誤について学ぶ。
54 回	ミクロ経済学 比較生産費説 演習	文章題・計算問題が解けるようになる。
55 回	憲法 基本的人権	特別権力関係について学ぶ。
56 回	民法 総則	詐欺について学ぶ。
57 回	ミクロ経済学 ゲーム理論	ゲーム理論におけるナッシュ均衡が求められるようになる。
58 回	経営学	企業の分類について学ぶ。
59 回	政治学・行政学	支配の正当性について学ぶ。
60 回	社会学	デュルケムと社会的事実について学ぶ。

科目名		科目時間総数	教員名
社会科学		555	時間 員上級学科 (国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61	経営学	株式会社の特徴について学ぶ。	
62	政治学・行政学	権力構造について学ぶ。	
63	社会学	パーソンズと社会秩序について学ぶ。	
64	憲法 基本的人権	私人間における人権の保障と限界について学ぶ。	
65	民法 総則	強迫について学ぶ。	
66	ミクロ経済学 ゲーム理論	ゼロ和ゲームにおけるミニマックス戦略が理解できる。	
67	憲法 基本的人権	私人間における人権の保障と限界について学ぶ。	
68	民法 総則	公序良俗違反による無効について学ぶ。	
69	ミクロ経済学 ゲーム理論 演習	文章題が解けるようになる。	
70	憲法 基本的人権	生命・自由・幸福追求権について学ぶ。	
71	民法 総則	法律行為の附款について学ぶ。	
72	ミクロ経済学 独占	独占市場における利潤最大化条件・余剰分析を理解できる。	
73	憲法 基本的人権	生命・自由・幸福追求権について学ぶ。	
74	民法 総則	法律行為の附款について学ぶ。	
75	ミクロ経済学 独占	ラーナーの独占度・差別価格戦略が理解できる。	
76	憲法 基本的人権	法の下での平等について学ぶ。	
77	民法 総則	権利の客体について学ぶ。	
78	ミクロ経済学 独占 演習	計算問題が解けるようになる。	
79	経営学	株式会社の仕組みについて学ぶ。	
80	政治学・行政学	権力構造について学ぶ。	
81	社会学	パーソンズと社会秩序について学ぶ。	
82	経営学	経営学：経済学から経営学へ	
83	政治学・行政学	政治学：政治的リーダーシップ	
84	社会学	パーソンズと社会秩序について学ぶ。	
85	憲法 基本的人権	法の下での平等について学ぶ。	
86	民法 総則	不動産登記について学ぶ。	
87	ミクロ経済学 独占 演習	計算問題が解けるようになる。	
88	憲法 基本的人権	精神的自由権の概観について学ぶ。	
89	民法 総則	代理とはについて学ぶ。	
90	ミクロ経済学 寡占	寡占市場におけるクールノー均衡を求めることができる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91回	憲法 基本的人権	思想・良心の自由について学ぶ。
92回	民法 総則	代理の効果と本人帰属要件について学ぶ。
93回	ミクロ経済学 寡占	寡占市場におけるシュタッケルベルグ均衡を求めることができる。
94回	憲法 基本的人権	信教の自由について学ぶ。
95回	民法 総則	無権代理について学ぶ。
96回	ミクロ経済学 寡占	寡占市場におけるカルテルの際の生産量を求めることができる。
97回	憲法 基本的人権	学問の自由について学ぶ。
98回	民法 総則	無権代理について学ぶ。
99回	ミクロ経済学 寡占	屈折需要曲線が理解できる。
100回	経営学	テイラーと科学的管理法について学ぶ。
101回	政治学・行政学	政治的リーダーシップについて学ぶ。
102回	社会学	ルーマンと社会学的啓蒙について学ぶ。
103回	経営学	テイラーと科学的管理法について学ぶ。
104回	政治学・行政学	政治思想とイデオロギーについて学ぶ。
105回	社会学	ルーマンと社会学的啓蒙について学ぶ。
106回	憲法 基本的人権	表現の自由の意味について学ぶ。
107回	民法 総則	表見代理について学ぶ。
108回	ミクロ経済学 寡占 演習	計算問題が解けるようになる。
109回	憲法 基本的人権	表現の自由の内容について学ぶ。
110回	民法 総則	表見代理について学ぶ。
111回	ミクロ経済学 寡占 演習	計算問題が解けるようになる。
112回	憲法 基本的人権	表現の自由の限界について学ぶ。
113回	民法 総則	法人とはについて学ぶ。
114回	ミクロ経済学 外部効果	外部効果による余剰分析をすることができる。
115回	憲法 基本的人権	集会・結社の自由と通信の秘密について学ぶ。
116回	民法 総則	法人の設立と機関について学ぶ。
117回	ミクロ経済学 外部効果 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。
118回	憲法 基本的人権	経済的自由権の概観について学ぶ。
119回	民法 総則	法人の能力について学ぶ。
120回	ミクロ経済学 費用逓減産業	費用逓減産業における利潤最大化を理解できる。

科目名		科目時間総数	時間	教員名
社会科学		555		員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
121	経営学	テイラーと科学的管理法について学ぶ。		
122	政治学・行政学	政治思想とイデオロギーについて学ぶ。		
123	社会学	ルーマンと社会学的啓蒙について学ぶ。		
124	経営学	ヘンリー・フォードとフォードシステムについて学ぶ。		
125	政治学・行政学	デモクラシーの理論について学ぶ。		
126	社会学	コールマンと合理的選択理論について学ぶ。		
127	憲法	職業選択の自由について学ぶ。		
128	基本的人権 民法 総則	法人の能力について学ぶ。		
129	ミクロ経済学 費用逓減産業	限界費用価格形成原理・平均費用価格形成原理が理解できる。		
130	憲法 基本的人権	居住・移転の自由について学ぶ。		
131	民法 総則	法人の能力について学ぶ。		
132	ミクロ経済学 費用逓減産業	図解問題が解けるようになる。		
133	憲法 基本的人権	財産権の保障について学ぶ。		
134	民法 総則	権利能力のない社団について学ぶ。		
135	ミクロ経済学 情報の非対称性	逆選択・モラルハザードが理解できる。		
136	憲法 基本的人権	人身の自由の基本原則について学ぶ。		
137	民法 総則	時効とはについて学ぶ。		
138	ミクロ経済学 消費者理論	効用関数・無差別曲線が理解できる。		
139	憲法 基本的人権	奴隷的拘束からの自由と適正手続について学ぶ。		
140	民法 総則	取得時効の要件について学ぶ。		
141	ミクロ経済学 消費者理論	無差別曲線・限界代替率が理解できる。		
142	経営学	フォーディズムから人間関係論への変遷を学ぶ。		
143	政治学・行政学	デモクラシーの理論について学ぶ。		
144	社会学	コールマンと合理的選択理論について学ぶ。		
145	経営学	ファヨールと管理過程論について学ぶ。		
146	政治学・行政学	現代社会における国家について学ぶ。		
147	社会学	コールマンと合理的選択理論について学ぶ。		
148	憲法 基本的人権	被疑者の権利について学ぶ		
149	民法 総則	消滅時効の要件について学ぶ。		
150	ミクロ経済学 消費者理論	予算制約線・効用最大化条件が理解できる。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
151	憲法 回 基本的人権	被告人の権利について学ぶ
152	民法 回 総則	時効の中断について学ぶ。
153	ミクロ経済学 回 消費者理論 演習	計算問題が解けるようになる。
154	憲法 回 基本的人権	請願権と裁判を受ける自由について学ぶ。
155	民法 回 総則	時効の援用について学ぶ。
156	ミクロ経済学 回 消費者理論	需要の所得弾力性を理解し、財の性質を理解できる。
157	憲法 回 基本的人権	国家賠償および補償請求権について学ぶ。
158	民法 回 物権	物権とはについて学ぶ。
159	ミクロ経済学 回 消費者理論	代替効果・所得効果を理解できる。
160	憲法 回 基本的人権	参政権について学ぶ
161	民法 回 物権	所有権について学ぶ。
162	ミクロ経済学 回 消費者理論	需要の交差弾力性を理解できる。
163	経営学 回	ファヨールと管理過程論について学ぶ。
164	政治学・行政学 回	現代社会における国家について学ぶ。
165	社会学 回	マルクスと資本主義批判について学ぶ。
166	経営学 回	メイヨーと人間関係論について学ぶ。
167	政治学・行政学 回	近代国家と議会政治について学ぶ。
168	社会学 回	マルクスと資本主義批判について学ぶ。
169	憲法 回 基本的人権	社会権の概観について学ぶ。
170	民法 回 物権	所有権について学ぶ。
171	ミクロ経済学 回 消費者理論	色々な無差別曲線における効用最大化となる点を理解できる。
172	憲法 回 基本的人権	生存権について学ぶ
173	民法 回 物権	所有権について学ぶ。
174	ミクロ経済学 回 消費者理論 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。
175	憲法 回 基本的人権	教育を受ける権利について学ぶ。
176	民法 回 物権	所有権について学ぶ。
177	ミクロ経済学 回 最適労働供給	効用を最大とする最適労働供給を求めることができる。
178	憲法 回 基本的人権	労働基本権について学ぶ
179	民法 回 物権	共有について学ぶ。
180	ミクロ経済学 回 最適労働供給 演習	計算問題が解けるようになる。

科目名		科目時間総数	時間	教員名
社会科学		555		員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
181	憲法	統治機構の概観について学ぶ。		
182	統治 民法 物権	占有権について学ぶ。		
183	ミクロ経済学 2期点間消費	2期点間における消費において効用最大化する消費を求めることができる。		
184	経営学	人間関係論（照明実験とホーソン工場の実験）について学ぶ。		
185	政治学・行政学	近代国家と議会政治について学ぶ。		
186	社会学	マルクスと資本主義批判について学ぶ。		
187	経営学	人間関係論と科学的管理法を比較し、理解を深める。		
188	政治学・行政学	政治学：近代国家と政治原理		
189	社会学	ウェーバーと理解社会学について学ぶ。		
190	憲法	国会の地位について学ぶ。		
191	統治 民法 物権	占有権について学ぶ。		
192	ミクロ経済学 2期点間消費 演習	計算問題が解けるようになる。		
193	憲法	国会の組織と活動について学ぶ。		
194	統治 民法 物権	占有権について学ぶ。		
195	ミクロ経済学 経済厚生	エッジワース・ボックスダイアグラムにおけるパレート最適な点を求めることができる。		
196	憲法	国会と議員の権能について学ぶ。		
197	統治 民法 物権	用益物権について学ぶ。		
198	ミクロ経済学 経済厚生 演習	図解問題が解けるようになる。		
199	憲法	行政権と内閣について学ぶ。		
200	統治 民法 物権	物権変動とはについて学ぶ。		
201	ミクロ経済学 期待効用仮説	期待効用仮説の考え方を理解できる。		
202	憲法	内閣の組織と権能について学ぶ。		
203	統治 民法 物権	物権変動の時期と対抗要件について学ぶ。		
204	ミクロ経済学 期待効用仮説 演習	計算問題が解けるようになる。		
205	経営学	行動科学の概要を学び、フォレットの統合理論フォレットについて学ぶ。		
206	政治学・行政学	近代国家と政治原理について学ぶ。		
207	社会学	ウェーバーと理解社会学について学ぶ。		
208	経営学	行動科学に関するリッカートの主な理論を学ぶ。		
209	政治学・行政学	主要諸国の政治制度について学ぶ。		
210	社会学	ウェーバーと理解社会学について学ぶ。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
211 回	憲法	議院内閣制について学ぶ。
212 回	統治 民法 物権	不動産の物権変動について学ぶ。
213 回	ミクロ経済学 公共財	公共財の性質・最適供給量を理解できる。
214 回	憲法	司法権の意味と範囲、その限界について学ぶ。
215 回	統治 民法 物権	不動産の物権変動について学ぶ。
216 回	ミクロ経済学 公共財 演習	計算問題が解けるようになる。
217 回	憲法	裁判所の組織と権能について学ぶ。
218 回	統治 民法 物権	不動産の物権変動について学ぶ。
219 回	ミクロ経済学 2要素生産関数	生産における資本・労働の需要について理解できる。
220 回	憲法	司法権の独立の意義と内容について学ぶ。
221 回	統治 民法 物権	不動産の物権変動について学ぶ。
222 回	ミクロ経済学 2要素生産関数	費用最小化となる資本・労働量の求め方を理解できる。
223 回	憲法	財政について学ぶ。
224 回	統治 民法 物権	動産の物権変動について学ぶ。
225 回	ミクロ経済学 2要素生産関数 演習	計算問題が解けるようになる。
226 回	経営学	行動科学に関するアージリスの主な理論を学ぶ。
227 回	政治学・行政学	現代の行政国家について学ぶ。
228 回	社会学	マンハイムと知識社会学について学ぶ。
229 回	経営学	マズローの欲求階層説について学ぶ。
230 回	政治学・行政学	現代の行政国家について学ぶ。
231 回	社会学	マンハイムと知識社会学について学ぶ。
232 回	憲法	地方自治について学ぶ。
233 回	統治 民法 物権	即時取得について学ぶ。
234 回	ミクロ経済学 長期均衡	長期均衡における生産量・参入可能な企業数を求めることができる。
235 回	憲法	抵抗権と国家緊急権について学ぶ。
236 回	統治 民法 物権	即時取得について学ぶ。
237 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
238 回	憲法	違憲審査制について学ぶ。
239 回	統治 民法 物権	即時取得について学ぶ。
240 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。

科目名		科目時間総数	教員名
社会科学		555	員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
241	憲法	憲法の改正手続きと限界について学ぶ。	
242	民法 物権	担保物権について学ぶ。	
243	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
244	憲法	憲法論文の書き方を学び、練習する。	
245	民法 物権	担保物権について学ぶ。	
246	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
247	経営学	行動科学に関するマグレガーの理論を学ぶ。	
248	政治学・行政学	現代社会と官僚制について学ぶ。	
249	社会学	マンハイムと知識社会学について学ぶ。	
250	経営学	行動科学に関するハーズバーグの理論を学ぶ。	
251	政治学・行政学	現代社会と官僚制について学ぶ。	
252	社会学	ハーバーマスとコミュニケーション的行為について学ぶ。	
253	行政法	行政と行政法について学ぶ。	
254	民法 物権	法定担保物権（留置権）について学ぶ。	
255	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
256	行政法	行政法の法源と行政法の分類について学ぶ。	
257	民法 物権	法定担保物権（先取特権）について学ぶ。	
258	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
259	行政法	行為の種別について学ぶ。	
260	民法 物権	質権について学ぶ。	
261	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
262	行政法	行為の種別について学ぶ。	
263	民法 物権	質権について学ぶ。	
264	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
265	行政法	行政活動の主体について学ぶ。	
266	民法 物権	抵当権について学ぶ。	
267	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
268	経営学	近代管理論とバーナード革命について学ぶ。	
269	政治学・行政学	議会と立法過程について学ぶ。	
270	社会学	ハーバーマスとコミュニケーション的行為について学ぶ。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
271 回	経営学	サイモンの意思決定論について学ぶ。
272 回	政治学・行政学	議会と立法過程について学ぶ。
273 回	社会学	ハーバーマスとコミュニケーション的行動について学ぶ。
274 回	行政法	行政組織の構成について学ぶ。
275 回	民法 物権	抵当権について学ぶ。
276 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
277 回	行政法	委任，代理，専決・代決について学ぶ。
278 回	民法 物権	抵当権の効力について学ぶ。
279 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
280 回	行政法	行政上の事務処理の方式（民間委託など）について学ぶ。
281 回	民法 物権	抵当権の効力について学ぶ。
282 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
283 回	行政法	法律による行政とその内容について学ぶ。
284 回	民法 物権	目的物利用権と抵当権について学ぶ。
285 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
286 回	行政法	法律の留保の原則について学ぶ。
287 回	民法 物権	目的物利用権と抵当権について学ぶ。
288 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
289 回	経営学	意思決定論とコンティンジェンシー理論について学ぶ。
290 回	政治学・行政学	選挙制度について学ぶ。
291 回	社会学	フーコーと主体の系譜学について学ぶ。
292 回	経営学	組織間関係論について学ぶ。
293 回	政治学・行政学	選挙制度について学ぶ。
294 回	社会学	フーコーと主体の系譜学について学ぶ。
295 回	行政法	法治主義と違法性について学ぶ。
296 回	民法 物権	抵当不動産の第三取得者等について学ぶ。
297 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
298 回	行政法	行政裁量とはについて学ぶ。
299 回	民法 物権	抵当不動産の第三取得者等について学ぶ。
300 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。

科目名		科目時間総数	教員名
社会科学		555	時間 員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
301	行政法	行政裁量の行使の適正化について学ぶ。	
302	民法 物権	抵当不動産の第三取得者等について学ぶ。	
303	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
304	行政法	行政裁量と司法審査について学ぶ。	
305	民法 物権	物権の復習	
306	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
307	行政法	行政裁量の司法審査の基準と方法について学ぶ。	
308	民法 物権	物権の復習	
309	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
310	経営学	経営組織の特徴について学ぶ。	
311	政治学・行政学	政策と政策過程について学ぶ。	
312	社会学	フーコーと主体の系譜学について学ぶ。	
313	経営学	伝統的組織論と新古典的組織論について学ぶ。	
314	政治学・行政学	政策と政策過程について学ぶ。	
315	社会学	ジンメルと個別科学としての社会学について学ぶ。	
316	行政法	行政立法とは何かについて学ぶ。	
317	民法 債権	債権の全体像について学ぶ。	
318	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
319	行政法	行政規範の種類、形式、委任と法的拘束力について学ぶ。	
320	民法 債権	債務不履行について学ぶ。	
321	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
322	行政法	条例、通達について学ぶ。	
323	民法 債権	債務不履行について学ぶ。	
324	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
325	行政法	行政処分とは何かについて学ぶ。	
326	民法 債権	債務不履行について学ぶ。	
327	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
328	行政法	行政処分の成立過程について学ぶ。	
329	民法 債権	受領遅滞について学ぶ。	
330	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
331 回	経営学	近代組織論について学ぶ。
332 回	政治学・行政学	現代政治と政党について学ぶ。
333 回	社会学	ジンメルと個別科学としての社会学について学ぶ。
334 回	経営学	基本的な組織形態（ライン組織とファンクショナル組織）について学ぶ。
335 回	政治学・行政学	政治社会と政党制について学ぶ。
336 回	社会学	ジンメルと個別科学としての社会学について学ぶ。
337 回	行政法	行政処分の附款について学ぶ。
338 回	民法 債権	受領遅滞について学ぶ。
339 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
340 回	行政法	行政処分の成立と効力の発生について学ぶ。
341 回	民法 債権	債務者の責任財産について学ぶ。
342 回	マクロ経済学 導入	マクロ経済学の基本的な考え方が理解できる。
343 回	行政法	行政処分の効力について学ぶ。
344 回	民法 債権	債権者代位権について学ぶ。
345 回	マクロ経済学 財市場の分析	国民所得の決定について理解し、計算できる。
346 回	行政法	公定力と訴訟について学ぶ。
347 回	民法 債権	債権者代位権について学ぶ。
348 回	マクロ経済学 財市場の分析	乗数理論を理解できる。
349 回	行政法	行政処分の当然無効について学ぶ。
350 回	民法 債権	債権者代位権について学ぶ。
351 回	マクロ経済学 財市場の分析	均衡予算乗数を理解し、計算できる。
352 回	経営学	ライン・アンド・スタッフ組織について学ぶ。
353 回	政治学・行政学	政治社会と政党制について学ぶ。
354 回	社会学	シュッツと現象学的社会学について学ぶ。
355 回	経営学	職能部門制組織と事業部制組織について学ぶ。
356 回	政治学・行政学	圧力団体と住民運動について学ぶ。
357 回	社会学	シュッツと現象学的社会学について学ぶ。
358 回	行政法	行政処分の変更可能性について学ぶ。
359 回	民法 債権	詐害行為取消権について学ぶ。
360 回	マクロ経済学 財市場の分析 演習	計算問題が解けるようになる。

科目名		科目時間総数	教員名
社会科学		555	時間 員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
361	行政法	行政処分の取消し（職権取消し）について学ぶ。	
362	民法 債権	詐害行為取消権について学ぶ。	
363	マクロ経済学 財市場の分析	インフレ・ギャップ、デフレ・ギャップを理解できる。	
364	行政法	行政処分の取消し（侵害処分の取消し受益処分の取消し）について学ぶ。	
365	民法 債権	詐害行為取消権について学ぶ。	
366	マクロ経済学 財市場の分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。	
367	行政法	行政処分の撤回について学ぶ。	
368	民法 債権	債権の消滅について学ぶ。	
369	マクロ経済学 IS-LM分析	投資関数を理解できる。	
370	行政法	行政上の強制執行，自力救済の禁止と行政的強制について学ぶ。	
371	民法 債権	弁済について学ぶ。	
372	マクロ経済学 IS-LM分析	IS曲線の導出が理解できる。	
373	経営学	事業部制組織の特徴について学ぶ。	
374	政治学・行政学	圧力団体と住民運動について学ぶ。	
375	社会学	シュッツと現象学的社会学について学ぶ。	
376	経営学	ブランド・マネージャー制とプロジェクト組織について学ぶ。	
377	政治学・行政学	現代の政治過程について学ぶ。	
378	社会学	社会変化とG. H. ミードの社会学について学ぶ。	
379	行政法	行政上の強制執行の種類について学ぶ。	
380	民法 債権	弁済について学ぶ。	
381	マクロ経済学 IS-LM分析	財政政策による影響、財市場における超過需要・超過供給が理解できる。	
382	行政法	行政上の代執行について学ぶ。	
383	民法 債権	相殺について学ぶ。	
384	マクロ経済学 IS-LM分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。	
385	行政法	行政上の強制執行が使い得ない倍の義務履行の確保の手段について学ぶ。	
386	民法 債権	相殺について学ぶ。	
387	マクロ経済学 IS-LM分析	中央銀行の役割・貨幣について理解できる。	
388	行政法	行政上の即時強制について学ぶ。	
389	民法 債権	相殺について学ぶ。	
390	マクロ経済学 IS-LM分析	信用創造のしくみ・信用乗数が理解できる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
391 回	行政法	行政上の制裁とその種類について学ぶ。
392 回	民法 債権	多数当事者の債権関係について学ぶ。
393 回	マクロ経済学 IS-LM分析	債券と貨幣需要の関係が理解できる。
394 回	経営学	マトリックス組織について学ぶ。
395 回	政治学・行政学	政治意識と投票行動について学ぶ。
396 回	社会学	社会変化とG. H. ミードの社会学について学ぶ。
397 回	経営学	戦略的事業単位について学ぶ。
398 回	政治学・行政学	政治的コミュニケーションについて学ぶ。
399 回	社会学	社会変化とG. H. ミードの社会学について学ぶ。
400 回	行政法	行政サービスの提供の拒否，公表について学ぶ。
401 回	民法 債権	多数当事者の債権関係について学ぶ。
402 回	マクロ経済学 IS-LM分析	貨幣需要と利子率の関係が理解できる。
403 回	行政法	行政指導とは何か，行政指導の必要性について学ぶ。
404 回	民法 債権	不可分債権・債務について学ぶ。
405 回	マクロ経済学 IS-LM分析	貨幣供給量をもとにした利子率の決定について理解できる。
406 回	行政法	行政指導の分類と法律の授権について学ぶ。
407 回	民法 債権	連帯債務について学ぶ。
408 回	マクロ経済学 IS-LM分析	LM曲線の導出が理解できる。
409 回	行政法	行政指導に対する実体的規制と形式的規制について学ぶ。
410 回	民法 債権	連帯債務について学ぶ。
411 回	マクロ経済学 IS-LM分析	金融政策による影響・貨幣市場における超過需要・超過供給が理解できる。
412 回	行政法	行政指導の中止と実施の求めについて学ぶ。
413 回	民法 債権	保証債務について学ぶ。
414 回	マクロ経済学 IS-LM分析 演習	文章題・図解問題が解けるようになる。
415 回	経営学	経営管理論から経営戦略論へについて学ぶ。
416 回	政治学・行政学	大衆社会の政治について学ぶ。
417 回	社会学	ブルーマーとシンボリック相互作用論について学ぶ。
418 回	経営学	競争戦略論について学ぶ。
419 回	政治学・行政学	大衆社会の政治について学ぶ。
420 回	社会学	ブルーマーとシンボリック相互作用論について学ぶ。

科目名		科目時間総数	教員名
社会科学		555	員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
421	行政法	行政計画とその種類について学ぶ。	
422	民法 債権	保証債務について学ぶ。	
423	マクロ経済学 IS-LM分析	均衡利子率・均衡国民所得を求めることができる。	
424	行政法	行政計画の策定と法律の授権について学ぶ。	
425	民法 債権	債権の譲渡について学ぶ。	
426	マクロ経済学 IS-LM分析	財政政策の有効性・金融政策の有効性が理解できる。	
427	行政法	行政計画に対する法的規制と行政計画の変更について学ぶ。	
428	民法 債権	債権の譲渡について学ぶ。	
429	マクロ経済学 IS-LM分析	財政政策の有効性・金融政策の有効性が理解できる。	
430	行政法	行政計画に対する救済方法と提案制度について学ぶ。	
431	民法 債権	債権の譲渡について学ぶ。	
432	マクロ経済学 IS-LM分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。	
433	行政法	行政契約とは、行政契約の種類と役割について学ぶ。	
434	民法 債権	債権の引受けについて学ぶ。	
435	マクロ経済学 IS-LM分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。	
436	経営学	競争戦略論について学ぶ。	
437	政治学・行政学	日本の政治について学ぶ。	
438	社会学	ブルーマーとシンボリック相互作用論について学ぶ。	
439	経営学	競争戦略論について学ぶ。	
440	政治学・行政学	日本の政治について学ぶ。	
441	社会学	ゴフマンと共在の社会学について学ぶ。	
442	行政法	行政契約の許容性と一般的な法的取扱いについて学ぶ。	
443	民法 債権	債権の引受けについて学ぶ。	
444	マクロ経済学 国民経済計算	GDP、GNPなどの構成が理解できる。	
445	行政法	行政契約の手続と、行政契約の訴訟（不履行と履行強制）について学ぶ。	
446	民法 債権	契約とはについて学ぶ。	
447	マクロ経済学 国民経済計算	物価指数について理解できる。	
448	行政法	行政調査について学ぶ。	
449	民法 債権	同時履行の抗弁権について学ぶ。	
450	マクロ経済学 国民経済計算	三面等価の原則を理解できる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
451 回	行政法	行政調査と法律の授権について学ぶ。
452 回	民法 債権	同時履行の抗弁権について学ぶ。
453 回	マクロ経済学 国民経済計算 演習	計算問題が解けるようになる。
454 回	行政法	行政調査の規制、違法と行政処分の取消しについて学ぶ。
455 回	民法 債権	危険負担について学ぶ。
456 回	マクロ経済学 国民経済計算	産業連関表の読み方が理解できる。
457 回	経営学	戦略のフレームワークについて学ぶ。
458 回	政治学・行政学	日本の政治について学ぶ。
459 回	社会学	ゴフマンと共在の社会学について学ぶ。
460 回	経営学	創発型戦略論について学ぶ。
461 回	政治学・行政学	国際政治について学ぶ。
462 回	社会学	ゴフマンと共在の社会学について学ぶ。
463 回	行政法	行政調査により取得された情報の目的外利用について学ぶ。
464 回	民法 債権	契約の解除について学ぶ。
465 回	マクロ経済学 国民経済計算 演習	計算問題が解けるようになる。
466 回	行政法	届出について学ぶ。
467 回	民法 債権	契約の解除について学ぶ。
468 回	マクロ経済学 AD-AS分析	AD曲線の導出が理解できる。
469 回	行政法	行政統制の諸制度（議会等による統制・監視と市民オンブズマン）について学ぶ。
470 回	民法 債権	売買契約の内容について学ぶ。
471 回	マクロ経済学 AD-AS分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。
472 回	行政法	行政統制の諸制度（不服申立てと訴訟）について学ぶ。
473 回	民法 債権	売買契約の内容について学ぶ。
474 回	マクロ経済学 AD-AS分析	労働需要と労働供給について理解できる。
475 回	行政法	行政手続の概念・種別・有用性について学ぶ。
476 回	民法 債権	売主の担保責任について学ぶ。
477 回	マクロ経済学 AD-AS分析	学派によるAS曲線の違いを理解できる。
478 回	経営学	人事管理とはについて学ぶ。
479 回	政治学・行政学	行政とは何かについて学ぶ。
480 回	社会学	エスノメソドロジーについて学ぶ。

科目名		科目時間総数	時間	教員名
社会科学		555		員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
481	経営学	リーダーシップについて学ぶ。		
482	政治学・行政学	行政とは何かについての概論を学ぶ。		
483	社会学	エスノメソドロジーについて学ぶ。		
484	行政法	行政手続法の目的規定と適用除外について学ぶ。		
485	民法 債権	売主の担保責任について学ぶ。		
486	マクロ経済学 AD-AS分析	財政政策・金融政策を行った際のAD-AS曲線による均衡点の変化を理解できる。		
487	行政法	行政手続法上の具体的仕組みについて学ぶ。		
488	民法 債権	売主の担保責任について学ぶ。		
489	マクロ経済学 AD-AS分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。		
490	行政法	行政手続の違法と行政処分取消しについて学ぶ。		
491	民法 債権	賃貸借契約とはについて学ぶ。		
492	マクロ経済学 AD-AS分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。		
493	行政法	情報公開と個人情報保護について学ぶ。		
494	民法 債権	貸主の義務・借主の義務について学ぶ。		
495	マクロ経済学 AD-AS分析	学派による考え方の違いが理解できる。		
496	行政法	情報公開と個人情報保護について学ぶ。		
497	民法 債権	賃借権の譲渡について学ぶ。		
498	マクロ経済学 AD-AS分析	インフレの種類とフィリップス曲線が理解できる。		
499	経営学	リーダーシップについての主な理論を学ぶ。		
500	政治学・行政学	大きくない政府の役割について学ぶ。		
501	社会学	エスノメソドロジーについて学ぶ。		
502	経営学	教育とジョブ・ローテーションと人材開発、組織開発について学ぶ。		
503	政治学・行政学	大きくない政府の役割について学ぶ。		
504	社会学	ブルデューあるいは二重の絶縁の戦略について学ぶ。		
505	行政法	行政不服申立て（行政不服審査法）の基本的特質について学ぶ。		
506	民法 債権	賃借権の転貸について学ぶ。		
507	マクロ経済学 消費理論と投資理論	三大消費仮説が理解できる。		
508	行政法	行政不服申立ての要件について学ぶ。		
509	民法 債権	賃借目的物の譲受人について学ぶ。		
510	マクロ経済学 消費理論と投資理論	学派による投資への考え方の違いを理解できる。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
511 回	行政法	行政不服申立ての手續等について学ぶ。
512 回	民法 債権	賃借目的物の不法占拠者等について学ぶ。
513 回	マクロ経済学 消費理論と投資理論	文章題・計算問題が解けるようになる。
514 回	行政法	原処分主義，不服申立てと訴訟について学ぶ。
515 回	民法 債権	贈与契約について学ぶ。
516 回	マクロ経済学 国際マクロ経済学	国際収支統計を理解し、経常収支の決定理論を理解できる。
517 回	行政法	行政事件訴訟の種類と概観について学ぶ。
518 回	民法 債権	消費貸借契約について学ぶ。
519 回	マクロ経済学 国際マクロ経済学	外国為替市場を理解し、国際収支均衡の赤字・黒字が理解できる。
520 回	経営学	マーケティング・コンセプトの変遷について学ぶ。
521 回	政治学・行政学	行政学の概論について学ぶ。
522 回	社会学	ブルデューあるいは二重の絶縁の戦略について学ぶ。
523 回	経営学	マーケティングの戦略について学ぶ。
524 回	政治学・行政学	行政学の概論について学ぶ。
525 回	社会学	ブルデューあるいは二重の絶縁の戦略について学ぶ。
526 回	行政法	取消訴訟の提起と教示制度について学ぶ。
527 回	民法 債権	請負契約について学ぶ。
528 回	マクロ経済学 国際マクロ経済学	固定相場制におけるマンデル＝フレミングモデルによる政策の有効性を理解できる。
529 回	行政法	取消訴訟の訴訟要件について学ぶ。
530 回	民法 債権	委任契約について学ぶ。
531 回	マクロ経済学 国際マクロ経済学	変動相場制におけるマンデル＝フレミングモデルによる政策の有効性を理解できる。
532 回	行政法	取消訴訟の処分性についてについて学ぶ。
533 回	民法 債権	事務管理について学ぶ。
534 回	マクロ経済学 国際マクロ経済学	ポリシー＝ミックスの考え方が理解できる。
535 回	行政法	取消訴訟の処分性についてについて学ぶ。
536 回	民法 債権	不当利得について学ぶ。
537 回	マクロ経済学 国際マクロ経済学 演	文章題・図解問題が解けるようになる。
538 回	行政法	取消訴訟の原告適格について学ぶ。
539 回	民法 債権	不当利得について学ぶ。
540 回	マクロ経済学 国際マクロ経済学 演	文章題・図解問題が解けるようになる。

科目名		科目時間総数	教員名
社会科学		555	員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
541 回	経営学	マーケティングの個別戦略について学ぶ。	
542 回	政治学・行政学	新しい行政の見方について学ぶ。	
543 回	社会学	ギデンズとモダニティの社会学について学ぶ。	
544 回	経営学	マーケティングの個別戦略について学ぶ。	
545 回	政治学・行政学	新しい行政の見方について学ぶ。	
546 回	社会学	ギデンズとモダニティの社会学について学ぶ。	
547 回	行政法	取消訴訟の原告適格について学ぶ。	
548 回	民法 債権	不法行為について学ぶ。	
549 回	マクロ経済学 成長理論	景気循環と成長理論を用いて計算できる。	
550 回	行政法	取消訴訟の原告適格について学ぶ。	
551 回	民法 債権	不法行為について学ぶ。	
552 回	マクロ経済学 成長理論	ハロッド＝ドーマーの成長理論が理解できる。	
553 回	行政法	取消訴訟の審理と判決について学ぶ。	
554 回	民法 債権	特殊な不法行為（監督者責任）について学ぶ。	
555 回	マクロ経済学 成長理論 演習	文章題・計算問題が解けるようになる。	

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名 <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">人文科学</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">学科名</td> <td>公務員上級学科（国家地方上級コース）</td> </tr> <tr> <td>担当教員</td> <td style="text-align: center;">夕向 政広</td> </tr> </table>	学科名	公務員上級学科（国家地方上級コース）	担当教員	夕向 政広
学科名	公務員上級学科（国家地方上級コース）				
担当教員	夕向 政広				
科目時間数： 50 時間	授業の種類： 講義・演習・実習				
必修・選択の別： 必修・選択・必修選択	開講時期： 通年				
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員試験における一次試験突破に向けた基礎学力の向上を目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 講義を通じて政治経済の知識を習得し、問題演習を通じて公務員試験本番での得点力向上を図る。</p> <p>【授業における達成課題】 知識の丸暗記に走ることなく、理解に重点を置き、応用問題が出題されたときであっても基本的な知識から解答を導き出せるようになる。</p>					
使用教材	出版社				
公務員合格セミナー人文科学テキスト初級本科 公務員合格セミナー人文科学確認ワーク初級本科 公務員合格セミナー人文科学演習ブック初級本科 公務員合格セミナー人文科学演習ブック（正答と解説）初級本科	実務教育出版 実務教育出版 実務教育出版 実務教育出版				
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>					
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>					
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>					
<p>【担当職員の実務経験】</p>					

科目名		科目時間総数	教員名
人文科学		50 時間	員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	縄文、弥生、古墳時代、律令国家①	旧石器時代、縄文時代、弥生時代、縄文文化と弥生文化について学び、内容を理解する。	
2 回	古代文明①	四大文明（メソポタミア文明・エジプト文明）の特色をつかみ、内容を理解する。	
3 回	自然環境①	安定陸塊と侵食平野について学び、内容を理解する。	
4 回	縄文、弥生、古墳時代、律令国家②	中国・朝鮮の交流、大和政権と古墳文化について学び、内容を理解する。	
5 回	古代文明②	四大文明（中国文明・インダス文明）の特色をつかみ、内容を理解する。	
6 回	自然環境②	堆積平野について学び、内容を理解する。	
7 回	縄文、弥生、古墳時代、律令国家③	飛鳥・奈良・平安時代前期の政治の流れについて学び、内容を理解する。	
8 回	古代文明③	古代ギリシアについて学び、内容を理解する。	
9 回	自然環境③	海岸の地形について学び、内容を理解する。	
10 回	縄文、弥生、古墳時代、律令国家④	飛鳥・白鳳・天平文化、弘仁・貞観・国風文化、飛鳥・奈良・平安時代の仏教の動きについて学び、内容を理解する。	
11 回	古代文明④	古代ローマについて学び、内容を理解する。	
12 回	自然環境④	世界の大地形について学び、内容を理解する。	
13 回	武家社会の変遷①	武士の興りと源平の合戦について学び、内容を理解する。	
14 回	ローマ帝国とキリスト教・ヨーロッパ世界の形成	ローマ帝国の内乱の1世紀から元首政について学び、内容を理解する。	
15 回	自然環境⑤	プレート・山地及び、火山地形について学び、内容を理解する。	
16 回	武家社会の変遷②	鎌倉幕府の成立、承久の乱と執権政治、元寇について学び、内容を理解する。	
17 回	ローマ帝国とキリスト教・ヨーロッパ世界の形成	ローマ帝国の五賢帝時代から専制君主政について学び、内容を理解する。	
18 回	自然環境⑥	その他の地形及び、世界の主な地形について学び、内容を理解する。	
19 回	武家社会の変遷③	鎌倉新仏教、鎌倉文化について学び、内容を理解する。	
20 回	ローマ帝国とキリスト教・ヨーロッパ世界の形成	キリスト教の誕生と発展及び、東西教会の対立と分裂について学び、内容を理解する。	
21 回	自然環境⑦	大気・海流・水について学び、内容を理解する。	
22 回	武家社会の変遷④	建武の新政と南北朝の対立、鎌倉幕府の仕組み、主な将軍（足利氏）と国内の政治について学び、内容を理解する。	
23 回	ローマ帝国とキリスト教・ヨーロッパ世界の形成	ゲルマン人の大移動とフランク王国の成立について学び、内容を理解する。	
24 回	気候・土壌①	気温と風及び、雨温図とハイサーグラフについて学び、内容を理解する。	
25 回	武家社会の変遷⑤	応仁の乱、日明貿易（勘合貿易）、惣村の形成と一揆について学び、内容を理解する。	
26 回	ローマ帝国とキリスト教・ヨーロッパ世界の形成	フランク王国の発展と分裂について学び、内容を理解する。	
27 回	気候・土壌②	ケッペンの気候区分について学び、内容を理解する。	
28 回	武家社会の変遷⑥	室町幕府の特色、室町文化について学び、内容を理解する。	
29 回	ローマ帝国とキリスト教・ヨーロッパ世界の形成	ビザンツ王国の繁栄について学び、内容を理解する。	
30 回	気候・土壌③	土壌帯について学び、内容を理解する。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	戦国大名と織豊政権①	戦国大名について学び、内容を理解する。
32 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け①	封建社会の成立と崩壊及び、商業の発達と都市の発展について学び、内容を理解する。
33 回	気候・土壌④	植物体について学び、内容を理解する。
34 回	戦国大名と織豊政権②	鉄砲とキリスト教伝来とその背景について学び、内容を理解する。
35 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け②	ローマ＝カトリック教会の発展について学び、内容を理解する。
36 回	民族・人口・交通・地図①	人種と言語、宗教、アジアの民族・宗教・言語、人種差別問題及び人口問題
37 回	戦国大名と織豊政権③	南蛮貿易について学び、内容を理解する。
38 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け③	十字軍の遠征について学び、内容を理解する。
39 回	民族・人口・交通・地図②	交通・通信、世界地図及び、標準時と時差について学び、内容を理解する。
40 回	戦国大名と織豊政権④	織田信長の統一事業について学び、内容を理解する。
41 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け④	英仏の発展と百年戦争について学び、内容を理解する。
42 回	世界の農林水産業①	農業地域の区分について学び、内容を理解する。
43 回	戦国大名と織豊政権⑤	豊臣秀吉の統一事業について学び、内容を理解する。
44 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け⑤	教皇権の衰退について学び、内容を理解する。
45 回	世界の農林水産業②	世界の農業の動向及び、世界の林業について学び、内容を理解する。
46 回	戦国大名と織豊政権⑥	桃山文化について学び、内容を理解する。
47 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け⑥	大航海時代について学び、内容を理解する。
48 回	世界の農林水産業③	世界の水産業について学び、内容を理解する。
49 回	幕藩体制	江戸幕府の成立、江戸幕府の仕組みと大名統制について学び、内容を理解する。
50 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け⑦	ルネサンスについて学び、内容を理解する。
51 回		
52 回		
53 回		
54 回		
55 回		
56 回		
57 回		
58 回		
59 回		
60 回		

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名 自然科学		教員名	公務員上級学科（国家地方上級コース） 井上 雄
科目時間数： 15 時間		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別： 必修・選択・必修選択		開講時期： 通年	
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員試験における一次試験突破に向けた基礎学力の向上を目的とし、合わせて一般教養を身につけることをねらいとする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 自然科学についての知識を学び、公務員試験における教養の問題が解けるようになる。</p> <p>【授業における達成課題】 各科目・単元における自然科学の知識を理解し、実際の問題演習で解けるようになる。</p>			
使用教材		出版社	
自作プリント			
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
自然科学		15 時間	員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	化学 周期表	元素の周期表を覚えることができる	
2 回	生物 細胞と組織	細胞の構造と働きについて理解できる。	
3 回	物理 物体の運動	等加速度直線運動の考え方・公式を用いて、問題が解けるようになる。	
4 回	地学 地球の動き	星の運動について理解できる。	
5 回	化学 原子	原子の構造が理解できる	
6 回	生物 細胞と組織	細胞の構造と働きについて理解できる。	
7 回	物理 物体の運動	落下運動の考え方・公式を用いて、問題が解けるようになる。	
8 回	地学 地球の動き	太陽の動き・季節の変化について理解できる。	
9 回	化学 電子配置	電子配置を理解できる	
10 回	生物 光合成	光合成の過程・植物の生活について理解できる	
11 回	物理 物体の運動 演習	第3回・第7回で学んだことを活かし、物体の運動の問題が解けるようになる。	
12 回	地学 太陽系	太陽系と惑星の運動について理解できる。	
13 回	化学 イオン	イオンになるしくみを理解できる。	
14 回	生物 光合成	光合成の過程・植物の生活について理解できる	
15 回	物理 力のつり合い・浮力	力のつり合いの考え方・浮力の公式を用いて、問題が解けるようになる。	

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名 一般知能		学科名	公務員上級学科（国家地方上級コース）
			担当教員
科目時間数：	235	時間	授業の種類： 講義・演習・実習
必修・選択の別：	必修・選択・必修選択		開講時期： 通年
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員試験に問われる一般知能分野への対策を目的とする。また、その学習過程において、論理的思考力の養成や幅広い一般教養にも触れる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 講義において、その問いが求める思考力や知識について学び、演習によって理解および定着を図る。</p> <p>【授業における達成課題】 公務員試験における同分野の問題に対して、解決・解答することができる。</p>			
使用教材		出版社	
1. 公務員 V問題集 数的処理		TAC	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		235	時間 員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	判断推理	集合の表し方（ベン図）と、その問題の解き方について学ぶ。	
2 回	判断推理	集合の表し方（キャロル表）と、その問題の解き方について学ぶ。	
3 回	数的推理	素数と素因数分解と、その問題の解き方について学ぶ。	
4 回	数的推理	倍数と約数と、その問題の解き方について学ぶ。	
5 回	資料解釈	階数と度数と、その問題の解き方について学ぶ。	
6 回	空間把握	正多面体の性質（定義，種類，オイラーの多面体定理）について学ぶ。	
7 回	国語	古代ギリシアの思想（自然哲学）について学ぶ。	
8 回	国語	古代ギリシアの思想（自然哲学）について学ぶ。	
9 回	判断推理	集合の表し方（線分図）と、その問題の解き方について学ぶ。	
10 回	判断推理	集合の包含関係と、その問題の解き方について学ぶ。	
11 回	数的推理	剰余系と、その問題の解き方について学ぶ。	
12 回	数的推理	N進法と、その問題の解き方について学ぶ。	
13 回	資料解釈	累積度数と累積度数分布グラフと、その問題の解き方について学ぶ。	
14 回	空間把握	正多面体の性質（正多面体の双対性）と、その問題の解き方について学ぶ。	
15 回	国語	古代ギリシアの思想（ソフィスト）について学ぶ。	
16 回	国語	古代ギリシアの思想（ソクラテス）について学ぶ。	
17 回	判断推理	命題と対偶と、その問題の解き方について学ぶ。	
18 回	判断推理	命題と対偶と、その問題の解き方について学ぶ。	
19 回	数的推理	数列（等差数列，等比数列，数列の和など）と、その問題の解き方について学ぶ。	
20 回	数的推理	規則性と、その問題の解き方について学ぶ。	
21 回	資料解釈	相対度数と、その問題の解き方について学ぶ。	
22 回	空間把握	正多面体の性質（正多面体の展開）と、その問題の解き方について学ぶ。	
23 回	国語	古代ギリシアの思想（プラトン）について学ぶ。	
24 回	国語	古代ギリシアの思想（アリストテレス）について学ぶ。	
25 回	判断推理	ド・モルガンの法則について学ぶ。	
26 回	判断推理	三段論法と、その問題の解き方について学ぶ。	
27 回	数的推理	虫食算と覆面算と、その問題の解き方について学ぶ。	
28 回	数的推理	魔方陣と法人算と、その問題の解き方について学ぶ。	
29 回	資料解釈	代表値（平均値，メジアン（中央値），モード（最頻値））と、その問題の解き方について学ぶ。	
30 回	空間把握	復習：正多面体の性質	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	国語	ヘレニズムの思想について学ぶ。
32 回	国語	ルネサンス（ピコ＝デラ＝ミランドラ）について学ぶ。
33 回	判断推理	命題の並列化と、その問題の解き方について学ぶ。
34 回	判断推理	命題の並列化と、その問題の解き方について学ぶ。
35 回	数的推理	整数の復習
36 回	数的推理	整数の演習
37 回	資料解釈	代表値と分布と、その問題の解き方について学ぶ。
38 回	空間把握	演習：正多面体の性質
39 回	国語	ルネサンス（エラスムス）について学ぶ。
40 回	国語	ルネサンス（トマス＝モア）について学ぶ。
41 回	判断推理	復習：集合と倫理
42 回	判断推理	演習：集合と論理
43 回	数的推理	連立方程式と、その問題の解き方について学ぶ。
44 回	数的推理	2次方程式と、その問題の解き方について学ぶ。
45 回	資料解釈	復習と演習
46 回	空間把握	立体の見取図と展開図（見取図）と、その問題の解き方について学ぶ。
47 回	国語	ルネサンス（マキャベリ）について学ぶ。
48 回	国語	宗教改革（ルター）について学ぶ。
49 回	判断推理	数量的順序関係と、その問題の解き方について学ぶ。
50 回	判断推理	順位的順序関係と、その問題の解き方について学ぶ。
51 回	数的推理	解と係数の関係と、その問題の解き方について学ぶ。
52 回	数的推理	不等式と、その問題の解き方について学ぶ。
53 回	資料解釈	資料の読み取り（計算に対する考え方）と、その問題の解き方について学ぶ。
54 回	空間把握	立体の見取図と展開図（展開図）と、その問題の解き方について学ぶ。
55 回	国語	宗教改革（カルヴァン）について学ぶ。
56 回	国語	宗教改革（マックス＝ウェーバー）について学ぶ。
57 回	判断推理	順位の変動と、その問題の解き方について学ぶ。
58 回	判断推理	順位の変動と、その問題の解き方について学ぶ。
59 回	数的推理	不定方程式（整数条件による場合分け）と、その問題の解き方について学ぶ。
60 回	数的推理	不定方程式（正負の符号による場合分け）と、その問題の解き方について学ぶ。

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		235	員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61	資料解釈	資料の読み取り（掛け算についての速算法）と、その問題の解き方について学ぶ。	
62	空間把握	立体の見取図と展開図（平行になる辺や面）について学ぶ。	
63	国語	モラリスト（モンテーニュ）について学ぶ。	
64	国語	モラリスト（パスカル）について学ぶ。	
65	判断推理	確定条件と、その問題の解き方について学ぶ。	
66	判断推理	確定条件と、その問題の解き方について学ぶ。	
67	数的推理	復習：方程式と不等式	
68	数的推理	演習：方程式と不等式	
69	資料解釈	資料の読み取り（割り算についての速算法）と、その問題の解き方について学ぶ。	
70	空間把握	復習：立体の見取図と展開図	
71	国語	ベーコン（経験論と帰納法）について学ぶ。	
72	国語	デカルト（合理論と演繹法）について学ぶ。	
73	判断推理	復習：順序関係	
74	判断推理	演習：順序関係	
75	数的推理	速さ・距離・時間の関係と、その問題の解き方について学ぶ。	
76	数的推理	単位の変換と、その問題の解き方について学ぶ。	
77	資料解釈	近似法と、その問題の解き方について学ぶ。	
78	空間把握	復習：立体の見取図と展開図	
79	国語	社会契約説（ホッブズ）について学ぶ。	
80	国語	社会契約説（ロック）について学ぶ。	
81	判断推理	方位と相互の位置関係と、その問題の解き方について学ぶ。	
82	判断推理	平面的位置関係と、その問題の解き方について学ぶ。	
83	数的推理	旅人算と、その問題の解き方について学ぶ。	
84	数的推理	流水算と、その問題の解き方について学ぶ。	
85	資料解釈	図表の背景についてと、その問題の解き方について学ぶ。	
86	空間把握	正多面体の切断（正六面体の切断）について学ぶ。	
87	国語	社会契約説（ルソー）について学ぶ。	
88	国語	社会契約説の比較について学ぶ。	
89	判断推理	平面的位置関係と、その問題の解き方について学ぶ。	
90	判断推理	円卓の位置関係と、その問題の解き方について学ぶ。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	数的推理	通貨算と、その問題の解き方について学ぶ。
92 回	数的推理	ダイアグラムと、その問題の解き方について学ぶ。
93 回	資料解釈	分数の大小関係と、その問題の解き方について学ぶ。
94 回	空間把握	正多面体の切断（正四面体の切断）について学ぶ。
95 回	国語	ドイツ観念論（カント）について学ぶ。
96 回	国語	ドイツ観念論（ヘーゲル）について学ぶ。
97 回	判断推理	空間的位置関係と、その問題の解き方について学ぶ。
98 回	判断推理	空間的位置関係と、その問題の解き方について学ぶ。
99 回	数的推理	ダイアグラムと図形の性質と、その問題の解き方について学ぶ。
100 回	数的推理	時計算と、その問題の解き方について学ぶ。
101 回	資料解釈	復習と演習
102 回	空間把握	正多面体の切断（正八面体の切断）について学ぶ。
103 回	国語	功利主義（ベンサム）について学ぶ。
104 回	国語	功利主義（J. S. ミル）について学ぶ。
105 回	判断推理	復習：位置関係
106 回	判断推理	演習：位置関係
107 回	数的推理	復習：速さ
108 回	数的推理	演習：速さ
109 回	資料解釈	分散と標準偏差（平均偏差，分散，標準偏差）と、その問題の解き方について学ぶ。
110 回	空間把握	正多面体の切断（正十二面体の切断）について学ぶ。
111 回	国語	有神論的実在主義（キルケゴール）について学ぶ。
112 回	国語	有神論的実在主義（ヤスパース）について学ぶ。
113 回	判断推理	2集合の対応関係（1対1対応）と、その問題の解き方について学ぶ。
114 回	判断推理	2集合の対応関係（複数対応）と、その問題の解き方について学ぶ。
115 回	数的推理	割合の増減と、その問題の解き方について学ぶ。
116 回	数的推理	原価・定価・売価の関係と、その問題の解き方について学ぶ。
117 回	資料解釈	標準化と偏差値と、その問題の解き方について学ぶ。
118 回	空間把握	正多面体の切断（正二十面体の切断）について学ぶ。
119 回	国語	無神論的実在主義（ニーチェ）について学ぶ。
120 回	国語	無神論的実在主義（ハイデッガー）について学ぶ。

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		235	時間 員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
121	判断推理	3集合の対応関係と、その問題の解き方について学ぶ。	
122	判断推理	3集合の対応関係と、その問題の解き方について学ぶ。	
123	数的推理	損益算（割増・割引）と、その問題の解き方について学ぶ。	
124	数的推理	損益算（損壊の予想）と、その問題の解き方について学ぶ。	
125	資料解釈	相関図と、その問題の解き方について学ぶ。	
126	空間把握	復習：正多面体の切断	
127	国語	無神論的実在主義（サルトル）について学ぶ。	
128	国語	プラグマティズム（パース）について学ぶ。	
129	判断推理	復習：対応関係	
130	判断推理	その他の対応関係（時間割表など）と、その問題の解き方について学ぶ。	
131	数的推理	濃度算（濃度と方程式）と、その問題の解き方について学ぶ。	
132	数的推理	濃度算（図解などによる解き方）と、その問題の解き方について学ぶ。	
133	資料解釈	相関係数と、その問題の解き方について学ぶ。	
134	空間把握	演習：正多面体の切断	
135	国語	プラグマティズム（ジェームズ）について学ぶ。	
136	国語	プラグマティズム（デューイ）について学ぶ。	
137	判断推理	復習：対応関係	
138	判断推理	演習：対応関係	
139	数的推理	比の計算と、その問題の解き方について学ぶ。	
140	数的推理	比の計算と、その問題の解き方について学ぶ。	
141	資料解釈	相関係数の性質と、その問題の解き方について学ぶ。	
142	空間把握	投影図（投影図の定義）と、その問題の解き方について学ぶ。	
143	国語	ヒューマニズム（ガンディー）について学ぶ。	
144	国語	ヒューマニズム（その他の思想）について学ぶ。	
145	判断推理	トーナメント戦と、その問題の解き方について学ぶ。	
146	判断推理	トーナメント戦と、その問題の解き方について学ぶ。	
147	数的推理	復習：割合の問題	
148	数的推理	演習：割合の問題	
149	資料解釈	復習と演習	
150	空間把握	投影図（投影図の性質）と、その問題の解き方について学ぶ。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
151回	国語	テーマ別読解練習：言語と記号
152回	国語	テーマ別読解練習：言語と記号
153回	判断推理	リーグ戦と、その問題の解き方について学ぶ。
154回	判断推理	リーグ戦と、その問題の解き方について学ぶ。
155回	数的推理	仕事算と、その問題の解き方について学ぶ。
156回	数的推理	仕事算と、その問題の解き方について学ぶ。
157回	資料解釈	階層的分類と、その問題の解き方について学ぶ。
158回	空間把握	投影図（投影図の性質を利用したサイコロ問題）
159回	国語	テーマ別読解練習：言語と記号
160回	国語	テーマ別読解練習：言語と記号
161回	判断推理	勝敗数と勝率と、その問題の解き方について学ぶ。
162回	判断推理	復習：試合の問題
163回	数的推理	ニュートン算と、その問題の解き方について学ぶ。
164回	数的推理	ニュートン算と、その問題の解き方について学ぶ。
165回	資料解釈	期間別の推移と、その問題の解き方について学ぶ。
166回	空間把握	立体の分割と構成（立体パズル）と、その問題の解き方について学ぶ。
167回	国語	テーマ別読解練習：自己と心理
168回	国語	テーマ別読解練習：自己と心理
169回	判断推理	復習：試合の問題
170回	判断推理	演習：試合の問題
171回	数的推理	植木算と、その問題の解き方について学ぶ。
172回	数的推理	植木算と、その問題の解き方について学ぶ。
173回	資料解釈	三角図表と、その問題の解き方について学ぶ。
174回	空間把握	立体の分割と構成（スライス法）と、その問題の解き方について学ぶ。
175回	国語	テーマ別読解練習：自己と心理
176回	国語	テーマ別読解練習：自己と心理
177回	判断推理	推理（嘘つき問題）と、その問題の解き方について学ぶ。
178回	判断推理	推理（嘘つき問題）と、その問題の解き方について学ぶ。
179回	数的推理	年齢算と、その問題の解き方について学ぶ。
180回	数的推理	年齢算と、その問題の解き方について学ぶ。

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		235	員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
181回	資料解釈	レーダーチャートと、その問題の解き方について学ぶ。	
182回	空間把握	軌跡と移動（多角形の移動が描く軌跡）と、その問題の解き方について学ぶ。	
183回	国語	テーマ別読解練習：身体と生命	
184回	国語	テーマ別読解練習：身体と生命	
185回	判断推理	発言からの推理（帽子の色当て）と、その問題の解き方について学ぶ。	
186回	判断推理	発言からの推理（帽子の色当て）と、その問題の解き方について学ぶ。	
187回	数的推理	平均算と、その問題の解き方について学ぶ。	
188回	数的推理	平均算と、その問題の解き方について学ぶ。	
189回	資料解釈	フローチャートと、その問題の解き方について学ぶ。	
190回	空間把握	軌跡と移動（円の移動が描く軌跡）と、その問題の解き方について学ぶ。	
191回	国語	テーマ別読解練習：身体と生命	
192回	国語	テーマ別読解練習：身体と生命	
193回	判断推理	復習：発言からの推理	
194回	判断推理	演習：発言からの推理	
195回	数的推理	最低得票数の問題と、その問題の解き方について学ぶ。	
196回	数的推理	最低得票数の問題と、その問題の解き方について学ぶ。	
197回	資料解釈	復習と演習	
198回	空間把握	軌跡と移動（円盤の回転と軌跡）と、その問題の解き方について学ぶ。	
199回	国語	テーマ別読解練習：文化と芸術	
200回	国語	テーマ別読解練習：文化と芸術	
201回	判断推理	暗号問題と、その問題の解き方について学ぶ。	
202回	判断推理	暗号問題と、その問題の解き方について学ぶ。	
203回	数的推理	復習：文章題	
204回	数的推理	演習：文章題	
205回	資料解釈	様々な資料解釈の練習	
206回	空間把握	軌跡と移動（円盤の回転と軌跡）と、その問題の解き方について学ぶ。	
207回	国語	テーマ別読解練習：文化と芸術	
208回	国語	テーマ別読解練習：文化と芸術	
209回	判断推理	復習：暗号問題	
210回	判断推理	演習：暗号問題	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
211 回	数的推理	辞書式配列と、その問題の解き方について学ぶ。
212 回	数的推理	樹形図と、その問題の解き方について学ぶ。
213 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
214 回	空間把握	回転体（直角三角形の回転体）と、その問題の解き方について学ぶ。
215 回	国語	テーマ別読解練習：哲学と倫理
216 回	国語	テーマ別読解練習：哲学と倫理
217 回	判断推理	川を渡る問題と、その問題の解き方について学ぶ。
218 回	判断推理	ハノイの塔の問題と、その問題の解き方について学ぶ。
219 回	数的推理	順列と、その問題の解き方について学ぶ。
220 回	数的推理	組合せと、その問題の解き方について学ぶ。
221 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
222 回	空間把握	回転体（半円の回転体）と、その問題の解き方について学ぶ。
223 回	国語	テーマ別読解練習：哲学と倫理
224 回	国語	テーマ別読解練習：哲学と倫理
225 回	判断推理	天秤を使った操作の問題と、その問題の解き方について学ぶ。
226 回	判断推理	復習：操作の手順の問題と、その問題の解き方について学ぶ。
227 回	数的推理	和の法則と積の法則と、その問題の解き方について学ぶ。
228 回	数的推理	和の法則と積の法則と、その問題の解き方について学ぶ。
229 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
230 回	空間把握	回転体（複雑な図形の回転体）と、その問題の解き方について学ぶ。
231 回	国語	テーマ別読解練習：情報とメディア
232 回	国語	テーマ別読解練習：情報とメディア
233 回	判断推理	復習：操作の手順の問題
234 回	判断推理	演習：操作の手順の問題
235 回	数的推理	重複順列と、その問題の解き方について学ぶ。

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	模擬試験	学科名	公務員上級学科（国家地方上級コース）
		担当教員	井上 雄・柳谷 知宏
科目時間数	15 時間	授 業 の 種 類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修 ・ 選択 ・ 必修選択	開講時期	通年
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員本試験形式の問題演習を重ねることで、本番での得点力向上につなげ、一次試験突破を目指す。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 MCOOL答練を実施する。</p> <p>【授業における達成課題】 公務員試験における1次試験を突破できる学力を身につける。</p>			
使用教材		出版社	
エムクールオリジナル答練		盛岡公務員法律専門学校	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>			
<p>【備 考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
模擬試験		15	員上級学科（国家地方上級コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	第1回MCOOL答練	教養試験対策	
2 回	〃	〃	
3 回	〃	〃	
4 回	第2回MCOOL答練	専門試験対策	
5 回	〃	〃	
6 回	〃	〃	
7 回	第3回MCOOL答練	教養試験対策	
8 回	〃	〃	
9 回	〃	〃	
10 回	第4回MCOOL答練	専門試験対策	
11 回	〃	〃	
12 回	〃	〃	
13 回	第5回MCOOL答練	教養試験対策	
14 回	〃	〃	
15 回	〃	〃	

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	総合実践	学科名	公務員上級学科（国家地方上級コース）
		担当教員	井上 雄・柳谷 知宏
科目時間数	95 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修・選択・必修選択	開講時期	通年
<p>【授業の目的・ねらい】 学生同士あるいは地域社会の方々といった他者との関りを通して、視野を広げ、気づき・考え・行動できる人材へと成長することを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーションおよび行事準備、運営、インターンシップなど他者と協力することをメインとする内容である。</p> <p>【授業における達成課題】 自分の考えを伝えることができることや他者との考えの違いを受け入れ協働できること、また自ら積極的に人や地域と関りを持つことができる。</p>			
使用教材		出版社	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（インターンシップ受入れ企業および盛岡市大通商店街）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（プレゼンテーション）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
総合実践		95	井上 雄・柳谷 知宏
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1回	オリエンテーション	授業の目的を理解し、最終的に何が身につけばよいかを具体的にイメージする	
2回 3回 必修	コミュニケーションゲーム（宝探しゲーム）	ヒントを頼りに、グループで答え見つけることができる	
4回	グループワーク（仕事と生活の関わり）	身近にある仕事についてグループで調査、研究を行い生活にどの程度密着したものであるのか理解を深める	
5回	〃	〃	
6回	〃	〃	
7回	〃	〃	
8回	〃	〃	
9回	〃	〃	
10回	〃	発表資料の作成のためのPCスキルを学ぶ	
11回	〃	相手に伝わりやすいプレゼンテーションについて理解した上で、発表準備を実践する	
12回	〃	〃	
13回	〃	調査、研究した内容を適切にプレゼンテーションできる	
14回	〃	〃	
15回	〃	〃	
16回	〃	〃	
17回	〃	グループごとの反省会・レポート作成	
18回	〃	〃	
19回 20回	グループディスカッション（100億あったら働くか？）	他者の考えを聞き、多様な価値観を受け入れることができる 自らの考えを相手に説明することができる	
21回 22回	グループディスカッション（こんな人とは働きたくない）	自らの職業感について、相手に説明できる 他者の職業感についても理解をする	
23回 24回	グループディスカッション（採用するなら「ウサギ」と「カメ」どちらか？）	社会で求められる人材像について考えるきっかけとできる 自らの課題を発見できる	
25回 26回	ディベート（コンビニエンスストアの24時間営業の是非）	日々のニュースなどに関心を抱き、問題意識を持つことができる 自らの考えを主張できる	
27回 28回	ディベート（救急車の有料化の是非）	〃 〃	
29回	インターンシップ準備	夏季長期休暇中に職業体験をしてみたい企業、自治体のリストアップ	
30回	〃	企業、自治体の業務内容の調査をし、理解をする	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31回	〃	〃
32回	〃	〃
33回	〃	インターンシップ希望先への受け入れの可否について問い合わせを行う
34回	〃	〃
35回	〃	〃
36回	〃	取り交わし文書の作成を行う
37回	グループワーク（公務員試験調べ）	公務員について（業務内容および試験内容等）グループで調査・研究を行い、職業理解を深める
38回	〃	〃
39回	〃	〃
40回	〃	〃
41回	〃	〃
42回	〃	〃
43回	〃	相手に伝わりやすいプレゼンテーション資料の作成を目標に実践する
44回	〃	〃
45回	〃	調査、研究した内容を適切にプレゼンテーションできる
46回	〃	〃
47回	〃	〃
48回	〃	〃
49回	〃	グループごとの反省会・レポート作成
50回	〃	〃
51回	インターンシップ報告会	インターンシップで経験した内容についてレポートの作成
52回	〃	インターンシップでの経験をまとめ、プレゼンテーションを実践するための資料の作成
53回	〃	〃
54回	〃	〃
55回	〃	〃
56回	〃	インターンシップで学んだことを適切に相手にプレゼンテーションできる
57回	〃	〃
58回	〃	〃
59回	〃	〃
60回	〃	〃

科目名		科目時間総数	教員名
総合実践		95	井上 雄・柳谷 知宏
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61 回	MC L文化祭準備	盛岡市大通商店街との連携を通し、地域に貢献することの意義を理解する	
62 回		盛岡市大通商店街に出店するブースについて、グループごとに企画を考える	
63 必修		"	
64 回		出店に際し、必要な経費、物品および人員の配置、来客予想などについて検討し計画書の作成を行う	
65 回		"	
66 回		出店に必要な物品の手配、作成の実践	
67 回		"	
68 回		"	
69 回		"	
70 回		MC L文化祭当日における運営（来客対応、準備、撤収等）	
71 回		"	
72 回		"	
73 回		"	
74 回		東京研修旅行準備	東京研修旅行の内容（自治体および企業訪問）と趣旨を理解する
75 回	希望する訪問自治体および企業のリストアップ		
76 回	訪問希望の自治体および企業研究をし、理解を深める		
77 回	"		
78 回	訪問企業先へ電話連絡を行い、受け入れの可否を確認する		
79 回	"		
80 回	訪問先への質問事項および交通計画など検討し、計画書の作成を行う		
81 回	"		
82 回	東京研修旅行	計画した研修旅行の実践をし、職業意識の向上を図る	
83 回		"	
84 回		"	
85 回		"	
86 回		"	
87 回		"	
88 回		"	
89 回	グループワーク（自主企画による地域貢献活動とは？）	グループワークの趣旨について説明を受け、理解し、地域についてより深く考えるきっかけとする	
90 回		地域に貢献するために自らができることについて研究し、地域や人のために貢献したいという意欲を向上させる	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	〃	〃
92 回	〃	〃
93 回	〃	〃
94 回	〃	グループごとの反省会・レポート作成
95 回	〃	〃

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	ビジネス教養 I	学科名	公務員上級学科 (国家地方上級コース)
		担当教員	吉田 友哉
科目時間数	25 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修、選択・必修選択	開講時期	1年次10月～2月
<p>【授業の目的・ねらい】 日商簿記検定3級程度の会計知識を理解することにより、基礎的な経理知識の習得を目指す。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 日商簿記検定3級程度の会計知識を学び、経理知識を身に着けた上で、実務に応用できる力を養うことができる。</p> <p>【授業における達成課題】 日商簿記検定3級程度の会計知識の理解</p>			
使用教材		出版社	
テキスト経営学		ミネルヴァ書房	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他 ()</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】 【内容】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
ビジネス教養 I		25 時間	吉田 友哉
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	簿記の基本	財務諸表や損益計算書などの決算書の概観を学び、理解する。	
2 回	簿記の基本	仕訳のルールについて理解し、基本的な仕訳ができる。	
3 回	商品売買	現金取引における商品売買や掛け取引について仕訳できる。(三分法)	
4 回	商品売買	返品処理等について仕訳できる。	
5 回	現金・預金	当座預金や当座借越、定期預金について仕訳できる。	
6 回	小口現金	小口現金について仕訳でき、小口現金出納帳の作成ができる。	
7 回	手形取引	約束手形、手形貸付・借入について仕訳ができる。	
8 回	その他の取引	貸付金・借入金、利息について、計算及び仕訳ができる。	
9 回	その他の取引	有形固定資産の購入・売却、未収金・未払金について仕訳できる。	
10 回	その他の取引	仮払金・仮受金について仕訳できる。	
11 回	訂正仕訳	訂正仕訳ができる。	
12 回	補助簿	売掛金元帳・買掛金元帳、商品有高帳、現金出納帳等を学び、理解できる。	
13 回	補助簿	売掛金元帳・買掛金元帳、商品有高帳、現金出納帳等の作成ができる。	
14 回	試算表	様々な試算表作成ができる。	
15 回	試算表	様々な試算表作成ができる。	
16 回	決算整理	現金過不足の仕訳ができる。	
17 回	決算整理	貯蔵品・当座借越について処理できる	
18 回	決算整理	売上原価の算定ができる。	
19 回	決算整理	貸倒れの処理及び貸倒引当金の設定ができる。	
20 回	決算整理	減価償却費の処理及び計算ができる。	
21 回	決算整理	経過勘定の処理ができる。	
22 回	精算表	精算表の作成に関する仕訳ができ、精算表の作成ができる。	
23 回	精算表	精算表の作成に関する仕訳ができ、精算表の作成ができる。	
24 回	B/SとP/L	貸借対照表及び損益計算書の作成に関する仕訳ができ、これらの作成ができる。	
25 回	B/SとP/L	貸借対照表及び損益計算書の作成に関する仕訳ができ、これらの作成ができる。	